

令和8年度 地域デザイン科学研究科経済経営専攻
入学試験問題（一般入試 C日程）

外国語科目：日本語

受験番号

ME

- ◎ この問題用紙は7ページ、問題1と問題2がある。すべての問題に答えなさい。
- ◎ 解答はすべて、この問題用紙に書いて提出しなさい。
- ◎ 下書き用紙は1枚あります。下書き用紙も提出しなさい。

問題1. 以下の文章を読み、語句の解説を確認して以下の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

(末廣徹「節約志向の家計がそれでも外食を減らさない理由とは？食料品が値上がりしすぎて自炊しても節約できない…経験則を外れた消費動向を読み解く」2025年4月18日付『東洋経済オンライン』

<https://toyokeizai.net/articles/-/871753>, 2026年1月26日閲覧)

【語句の解説】

◎「低迷(ていめい)」:業績や成果に活発さがなく、低い水準で推移していること。◎「底堅さ(そこがたさ)」:消費や人気が下がりそうで下がらないこと。◎「消費マインド」:消費者が物を買おうとする気分・意欲。◎「足元(あしもと)」:ここ最近の状況・現時点では。◎「むろん」:「もちろん」と同じ。◎「上振れる(うわぶれる)」:予想や平均よりも高くなること(数字が大きく出ること)。◎「証左」:「証拠」と同じ。◎「整合的(せいごうてき)」:矛盾がなく、一貫していること。

問1. 次の(ア)(イ)の文に含まれる漢字をすべて読みなさい。解答は文の下に直接書き込みなさい。

(ア) 共働き世帯の増加などによって選択的支出である外食を減らして自炊にシフトするのに限界があること

(イ) 足元では食料の値上がりが顕著であり、外食については相対的に値上がり幅が限定的である。

問2. 2 ページの下線部「外食が堅調であることに筆者は驚いた」について、筆者が驚いた理由を 1~2 文で簡潔に説明しなさい。

問3. 3 ページのグラフ「消費者物価指数の前年比」について、グラフ全体の形としてどのような傾向・推移を表しているか、ことばで具体的に描写しなさい。なお、「食品」「調理食品」「一般外食」それぞれの個別の傾向・推移について述べる必要はありません。

問4. 1ページの下線部「選択的支出が相対的に増えているということは、実は消費マインドは強く、贅沢な消費をしているのだろうか？ 答えは否であると思われる。」について、筆者がこのように考える理由を1～2文で簡潔に説明しなさい。

問5. 4ページの下線部で筆者が「外食の単価が低下している証左である可能性がある」とする、その根拠を示す文中の文を抜き出し、それを使って筆者の見解を簡潔に説明しなさい。

問6. この記事をとじて自分の論文に参照するとします。この記事の内容を紹介する引用文(自分のことばで他者の文献の内容を紹介する文)を書きなさい。ただし引用文は「末廣(2025)は」から始めること。

問題2. あなたが大学院で研究しようとしているテーマについて、専門家でない人に向けて、その興味深いところ、面白いところを伝える作文を書いてください。ただし、次の5種類の語・表現をすべて、必ず一回以上使って書いてください。

【表現】①動詞の使役または使役受身の形、②話題を変える接続詞、③複文(「春が来ると、桜が咲く。」のような2つの文を含む文)、④感情・気持ちを表す形容詞、⑤「～ようになる」

以上